

2025年

Winter

YA通信

『YA通信』は、和光市図書館の中高生向け情報を3・6・9・12月の年4回発信している情報誌です。



YAとは、Young Adult(ヤングアダルト)の略称で、中学・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」を指した〈若い大人〉という意味を持ちます。

『児童書だと幼すぎるし、一般書だと難しくて読む気にならない…』そんな世代に向けて今話題の本や、進学・職業に関する本、ライトノベルなどを集めた〈YAコーナー〉があります。自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。

中高生

ぼんのPOPコンテスト

結果発表

最優秀賞

ペンギンは空を見上げる

むっちゃん作

たくさんのご応募の中から最優秀賞に輝いたのは、ペンネーム“むっちゃん”作の『ペンギンは空を見上げる』でした。目を惹くキャッチフレーズと可愛いイラストが印象的です。

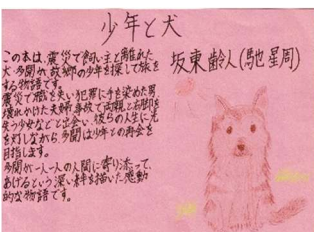
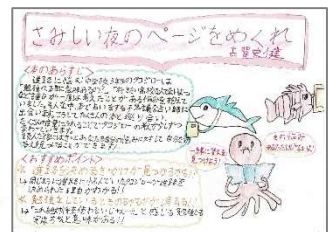
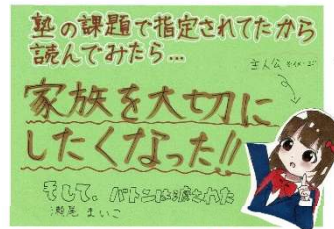
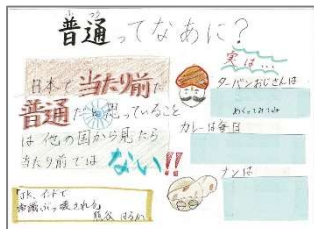
投票者からは、「読んでみたくなる！」という感想が多く寄せられました。むっちゃんさん、おめでとうございます！



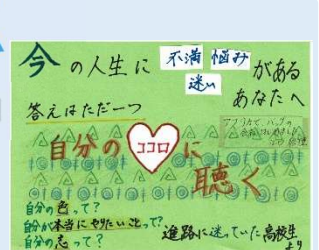
優秀賞



優秀賞に輝いた作品です！どれも素敵で、力作ぞろいでした。



POP王賞
『アフリカで、バッグの会社はじめました』
POP王「内田剛」先生による**POP王賞**に輝いた作品です！



今年も、本の福袋！

本の福袋とは、本の表紙が見えない状態で、テーマが記載されたタグを見て本を借りてもらう企画です。

今回も市内の中学生・高校生が、おすすめしたい本を分館で選び、利用者の方に手に取ってもらえるよう想像しながらテーマを考えました。おすすめのテーマにはどんな本が選ばれたのだろう？と思いつくらせて借りてみると、思わぬ本との出会いがあるかもしれません。

持ち帰り用のバッグは英字新聞を使った手作りです。バッグの柄にもこだわりをもって作ったので、ぜひ注目してください！

来年1月6日（火）から分館にて貸出しますのでお楽しみに。
(1人1点限り)



YA 事業
図書館クラブのご案内

分館

冬休みにおすすめの本

図書館職員のおすすめ本を紹介します。
ぜひ、読んでみてくださいね。

さばの缶づめ、宇宙へいく

小坂 康之 // 著 林 公代 // 著 イースト・プレス 2022年
分類:Y667.9
資料コード:11236866(本館) 51030680(分館)

「ここで作ったさば缶を宇宙に飛ばせるんちゃう？」

そんな生徒の一言で「伝統はあるが教育困難校だった水産高校」が伝統のさば缶作りを改良し、10年以上をかけて宇宙に持っていきけるまでにしました。県立高校の統廃合で一時は高校や学科の存続も危ぶまれましたが、統合先の高校をも巻き込んで、さば缶研究は続いたのです。

今が旬のサバにこんな物語がありました。宇宙食研究としても教育への問題提起としても読むことのできる1冊、ぜひ手に取ってみて下さい。



中学生までに読んでおきたい日本文学 10(ふしぎな話)

松田 哲夫 // 編 あすなろ書房 2011年
分類:Y918
資料コード:12135045(本館) 52001901(分館)

巻頭の「死なない蝟」(萩原朔太郎)から度肝を抜かれる話が目白押し不思議な短編のアンソロジーです。どの作品もおすすめですが、星新一作の「おーい でてこーい」は最後に背筋がぞーとすること請け合い、また中島敦作「名人伝」は、物事を突き詰めていくとしまいには・・・と奇妙な味わいを感じさせる一品となっています。

何かと気ぜわしい冬休みですが、しばし現実を忘れて、つかの間摩訶不思議な世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。



令和7年度 埼玉県推奨図書を紹介

推奨図書とは

埼玉県で読書週間や彩の国教育週間に向けて、青少年の皆さんに読んでいただきたい図書を県民や出版社が推薦し、埼玉県青少年健全育成審議会での審議を経て選ばれた図書です。図書館本館と下新倉分館の両方で所蔵していますので、ぜひ読んでみてください。

中学生向け

書名・著者名・出版社・請求記号(本の背の数字)の順に記載

『17シーズン』
百舌 涼一 // 著
講談社 児童 913

五・七・五の音数に導かれる世界に強く影響を受けた主人公の音々は句会を通して、自分の心を表現し、それを表していくことに惹かれていく。俳句と出会った少女の心溢れる感性豊かな物語。



『はなしをきいて』
マギー ホーン // 著 三辺 律子 // 訳
理論社 Y933ホ

自分の気持ちに声をあげた勇気をもてなかった時に、人はきっかけ一つで大きく変わる一理不尽なこと、不安なこと、心配なこと全てを、このスピーチに込めて魂の叫びをエネルギーに描き切った物語。



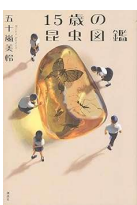
『かんぱんのないコーヒーや』
かめおか あきこ // 作
ほるぷ出版 Eア

古本と一緒に珈琲を楽しめるお店を開いていたオオカミくん。ある日、いい匂いのする“かんぱんのない”コーヒーやさんに入り、マスターのクマに出会う。そこからオオカミくんの美味しいコーヒーを入れるための“頑張り”が始まる。



『15歳の昆虫図鑑』
五十嵐 美怜 // 著 ゲレンデ // 装画 柏 大輔 // 挿画
講談社 児童 913(本館) Y913(分館)

昆虫好きの転校生が様々な悩みを抱えたクラスメイトと関わっていく中で、昆虫もその多様性の中で生き抜いていることを教えていく。自分らしく生きることの大切さを温もりのある文で伝えてくれる。



『光の粒が舞いあがる』
蒼沼 洋人 // 著
PHP 研究所 児童 913

人は誰かと出会ったり、憧れたりすることで勇気ももらったり、自分と向き合ったりすることの大切さを教えてもらえる。ボクシングを通して二人の少女が自分とは何者なのかを見つけ、爽快に過ごす青春物語。



高校生向け

書名・著者名・出版社・請求記号(本の背の数字)の順に記載

『牛乳から世界がかわる』
小林 国之 // 著
農山漁村文化協会 Y640

牛乳を切り口に、酪農の現状はもちろん、経済や環境問題などのテーマも、農業経済学を専門とする著者が解説する。酪農の現場を訪ねる「実践編」は必見。牛を愛する酪農家の思いとは。酪農家を目指す人はもちろん、牛乳を飲む全ての人に捧げる一冊。



『宇宙はなぜこんなにうまくできているのか』
村山 斉 // 著 集英社
Y443.9(本館) Y443.9(分館)

太陽はなぜ燃えつづけているのか？ブラックホールとは？私たちが困む宇宙の疑問に様々な視点から答える物理・化学入門。ケプラーやニュートンから相対性理論、量子論まで、難しい数式なしで著者が易しく解説してくれます。



『隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい』
白尾 悠 // 著
双葉社 一般 913.6

煩わしくなることもあるかもしれないけれど、誰かと繋がって生きていくことは、そんなに大変でも嫌なことでもない。むしろ、その良さを知ってしまったら、引越してなお時々遊びに来てしまうほど。こんな場所があったら住みたいと思わせてくれる優しい物語。



『よむよむかたる』
朝倉 かすみ // 著
文藝春秋 一般 913.6

叔母の喫茶店を引き継ぎ、超高齢者読書会と関わるようになった青年、やっくん。人生の重みを感じさせる個性的な読書会は波瀾万丈で、参加したくなること間違いなし！



『注文に時間がかかるカフェ』
大平 一枝 // 著
ポプラ社 M496.9

吃音を理由に夢を諦めたくない。「注文に時間がかかるカフェ」は、そんな思いから始まった。この取組は、人々に勇気と感動を与え、今も活動の輪を広げている。取組の発起人である奥村安莉沙氏への取材を中心に、自身と向き合い成長する人々を追った。



本棚の場所が
わからなかったら
カウンターまで！

